

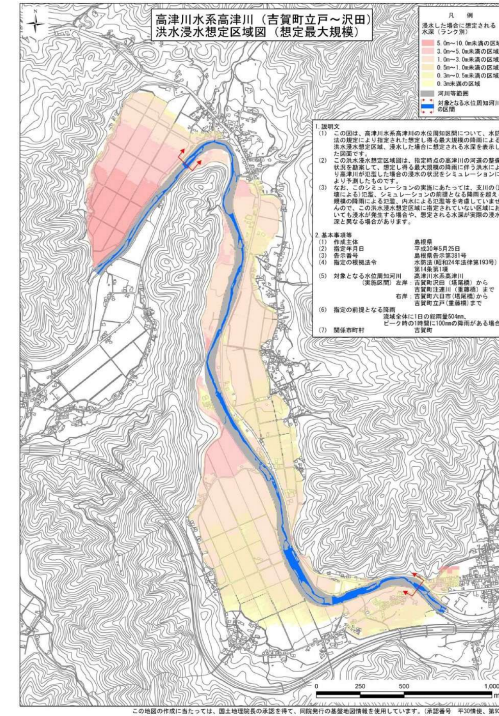
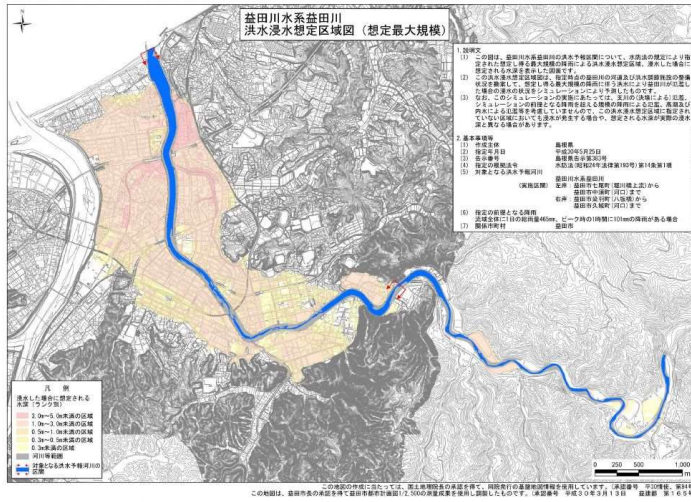
益田圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

- ・平成30年度の実施状況
- ・令和元年度の取組予定

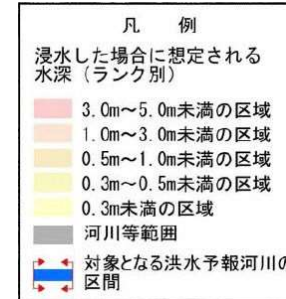
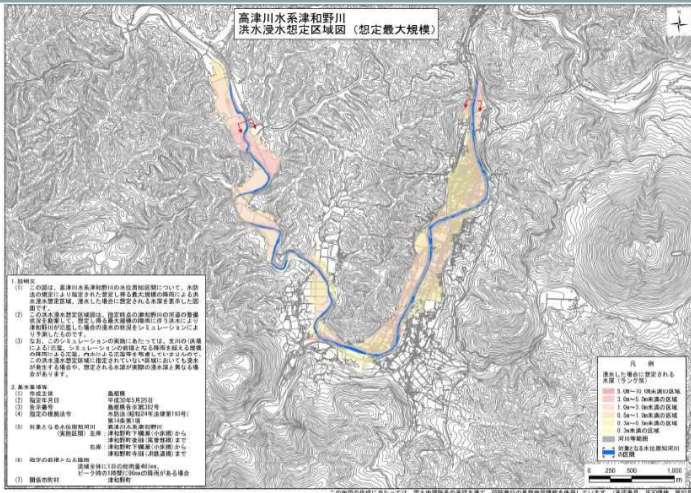
項目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知 目標時期:H30年度末まで	
内容	H30年度取組	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
	R01年度予定	—
取組機関	島根県	

益田川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模】 (H30.5.25公表)

高津川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模】 (H30.5.25公表)



津和野川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模】 (H30.5.25公表)



項目	2. 水害ハザードマップの改良・周知 目標時期：2020年度末まで	
内容	H30年度取組	益田市：防災ハザードマップの作成 津和野町：防災ハザードマップの作成 吉賀町：防災ハザードマップ（既存）の周知（転入者等へ戸別配布）
	R01年度予定	益田市：防災ハザードマップの周知（各戸配布、ポータルサイト登録、市HP掲載等） 津和野町：防災ハザードマップの周知（各戸配布、ポータルサイト登録、町HP掲載等） 吉賀町：防災ハザードマップ（既存）の周知（転入者等へ戸別配布）
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町	

取組

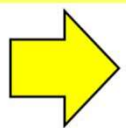
- ・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を踏まえた水害ハザードマップに改良
- ・新たに作成する水害ハザードマップを広く住民等へ周知する
(住民への配布や国土交通省ハザードマップポータルサイトへの登録など)

現状

現状のハザードマップ

例) 益田川

避難場所、避難経路等の再検討



取組

- ・想定最大規模降雨のハザードマップ作成
- ・住民等への周知（配布、ポータルサイト登録）

国土交通省ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

国土交通省ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

重ねるハザードマップ
～防災に役立つ情報を地図に重ねて表示～

場所を入力
例：国土地理院/36.1 140.1/36度6分16秒 140度5分5秒/545VE1

表示する情報を選ぶ

洪水 土砂災害 津波

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

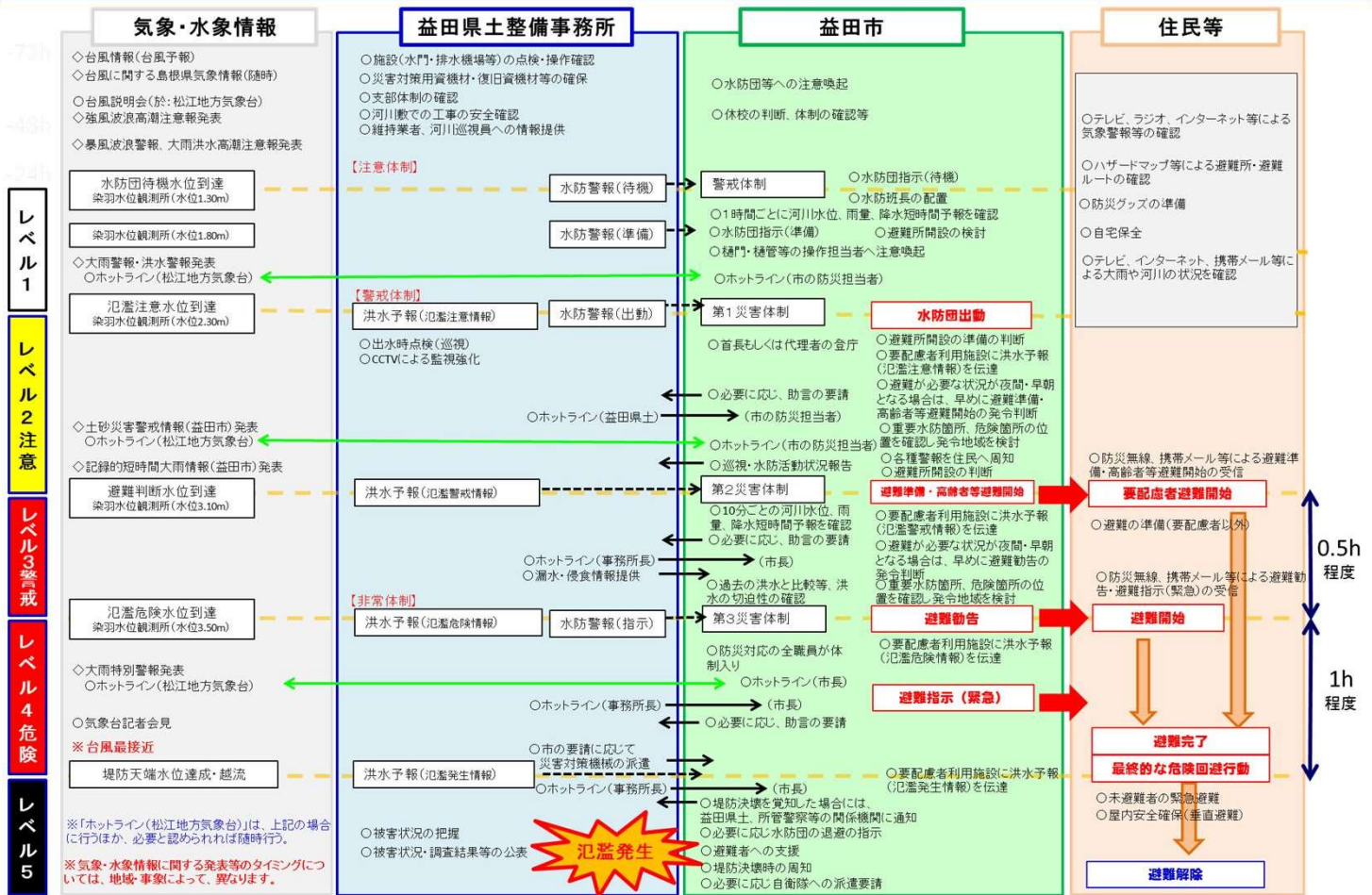
各市町村が作成したハザードマップをリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

まちを選ぶ
都道府県 市区町村

〇〇市ハザードマップ「〇〇版」

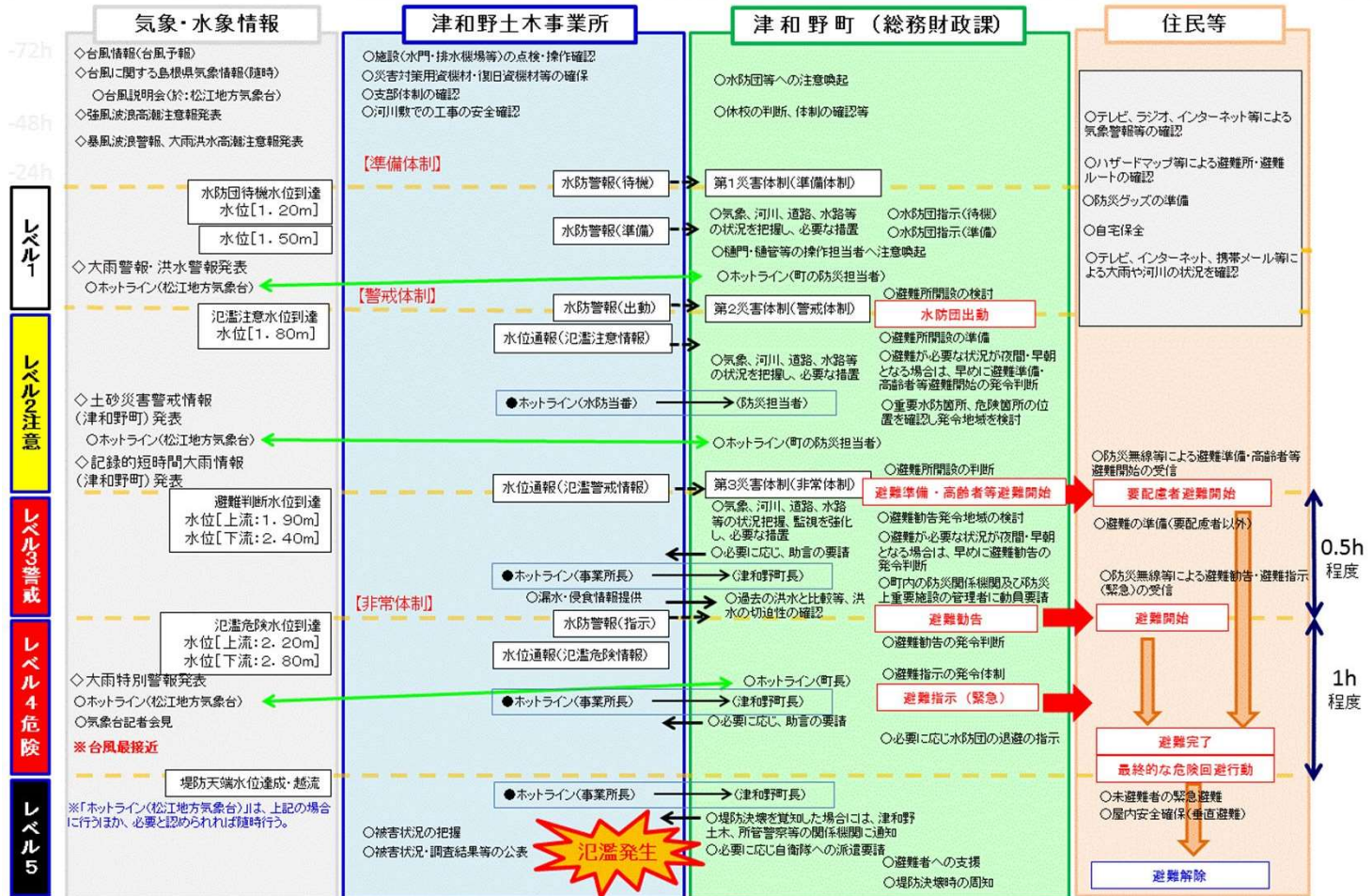
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定 目標時期：H30年度の出水期まで	
内容	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
	R01年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
取組機関	協議会全体	

益田川 染羽観測所 台風の接近・上陸に伴う洪水(前線による洪水)を対象とした、県河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画) H30.6.1作成



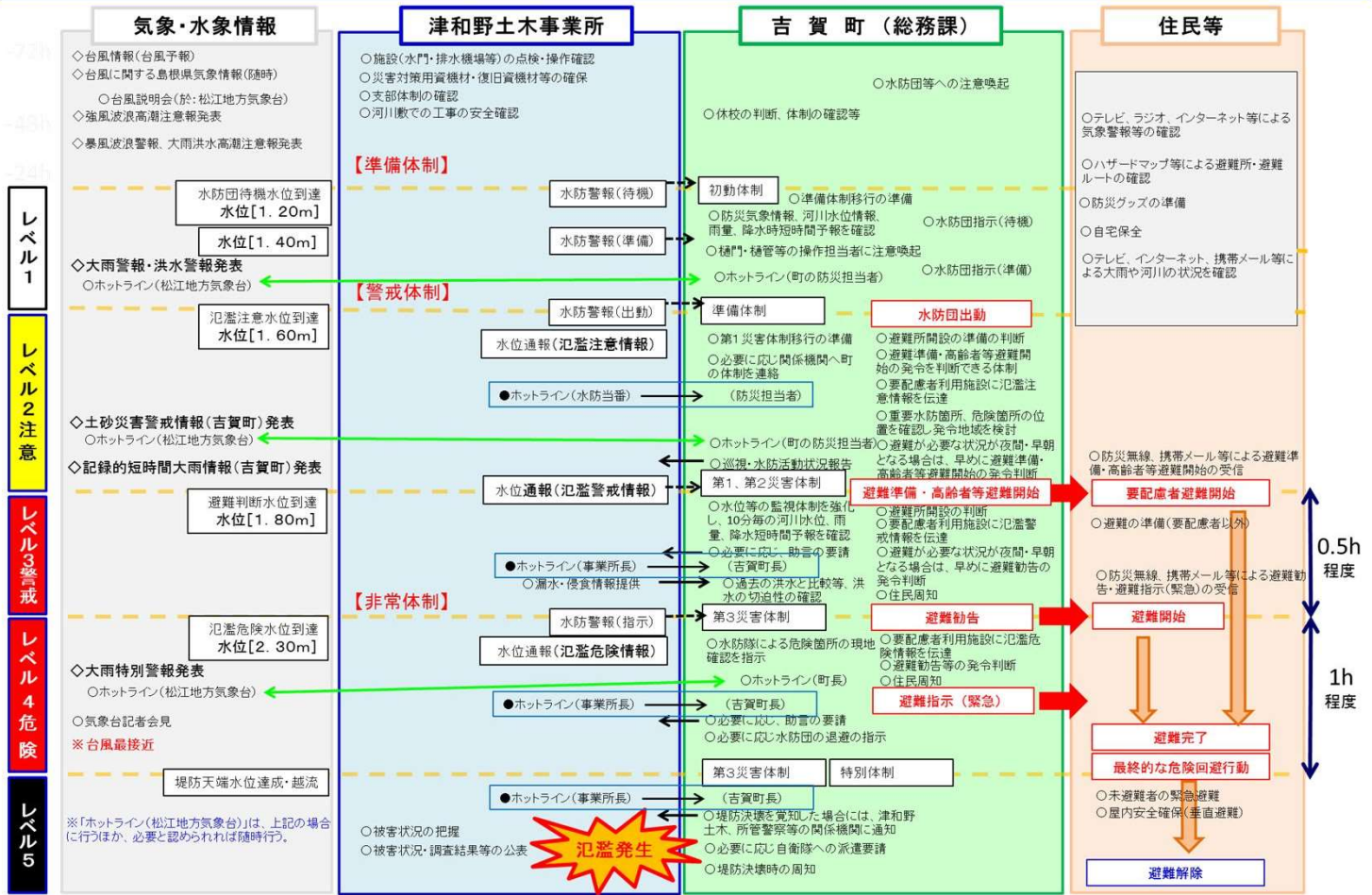
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定 目標時期：H30年度の出水期まで	
内容	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
	R01年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
取組機関	協議会全体	

津和野川 町田観測所 台風の接近・上陸に伴う洪水(前線による洪水)を対象とした、県河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目した**タイムライン**(防災行動計画) H30.6.1作成



項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定 目標時期：H30年度の出水期まで	
内容	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
	R01年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し
取組機関	協議会全体	

高津川 塔尾橋観測所 台風の接近・上陸に伴う洪水(前線による洪水)を対象とした、県河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画) H30.6.1作成



項目	4. 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着） 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	情報伝達演習においてホットラインを実施【H30.4.25】
	R01年度予定	情報伝達演習においてホットラインを実施【H31.4.25】
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

河川に関する情報伝達演習 (H30.4.25)



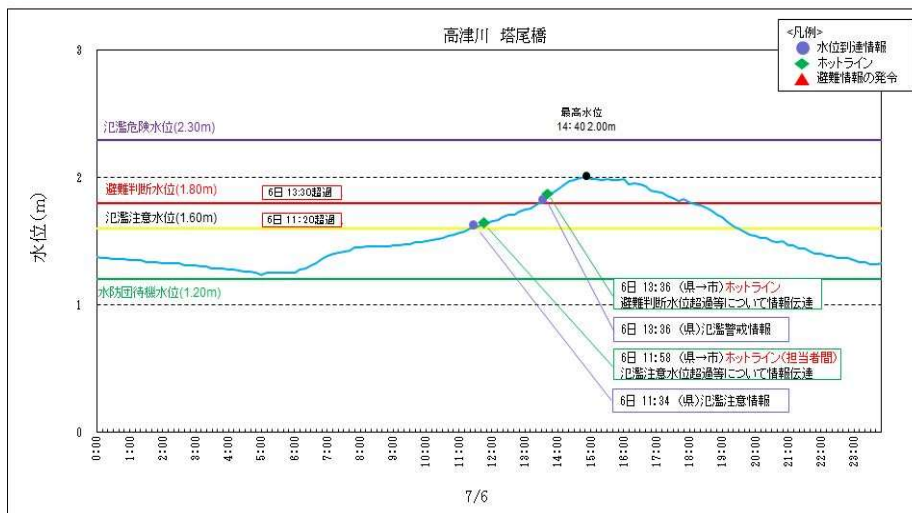
水防本部の状況
(河川課水防室)

ホットラインを含めた情報伝達演習の実施 (H31.4.25)

▼実洪水でのホットライン（高津川_塔尾橋）

平成30年7月6日

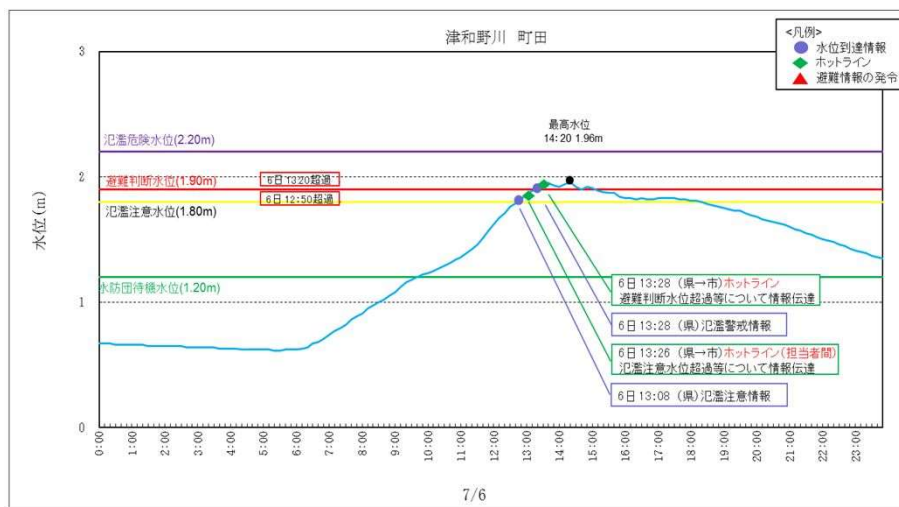
高津川における水位とホットライン(情報伝達)等 塔尾橋観測所



▼実洪水でのホットライン（津和野川_町田）

平成30年7月6日

津和野川における水位とホットライン(情報伝達)等 町田観測所



項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 目標時期：2020年度末まで	
内容	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県）【H31.3.8～運用開始】
	R01年度予定	次期水防情報システム運用開始（島根県）
取組機関	松江地方气象台、島根県	

○水防情報システムの周知を図るためパンフレットを作成（一般向けと小学生向けの2種類）
小学生向けパンフレット

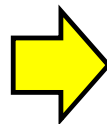
〒690-8501 島根県松江市殿町8番地（南庁南庁舎）
TEL:0852-22-5529 e-mail:kasen@pref.shimane.lg.jp
0852-22-6363(水防本部)

項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 目標時期：2020年度末まで	
内容	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県）【H31.3.8～運用開始】
	R01年度予定	雨量計・水位計の更新（島根県）
取組機関	松江地方气象台、島根県	

◆雨量計・水位計の更新

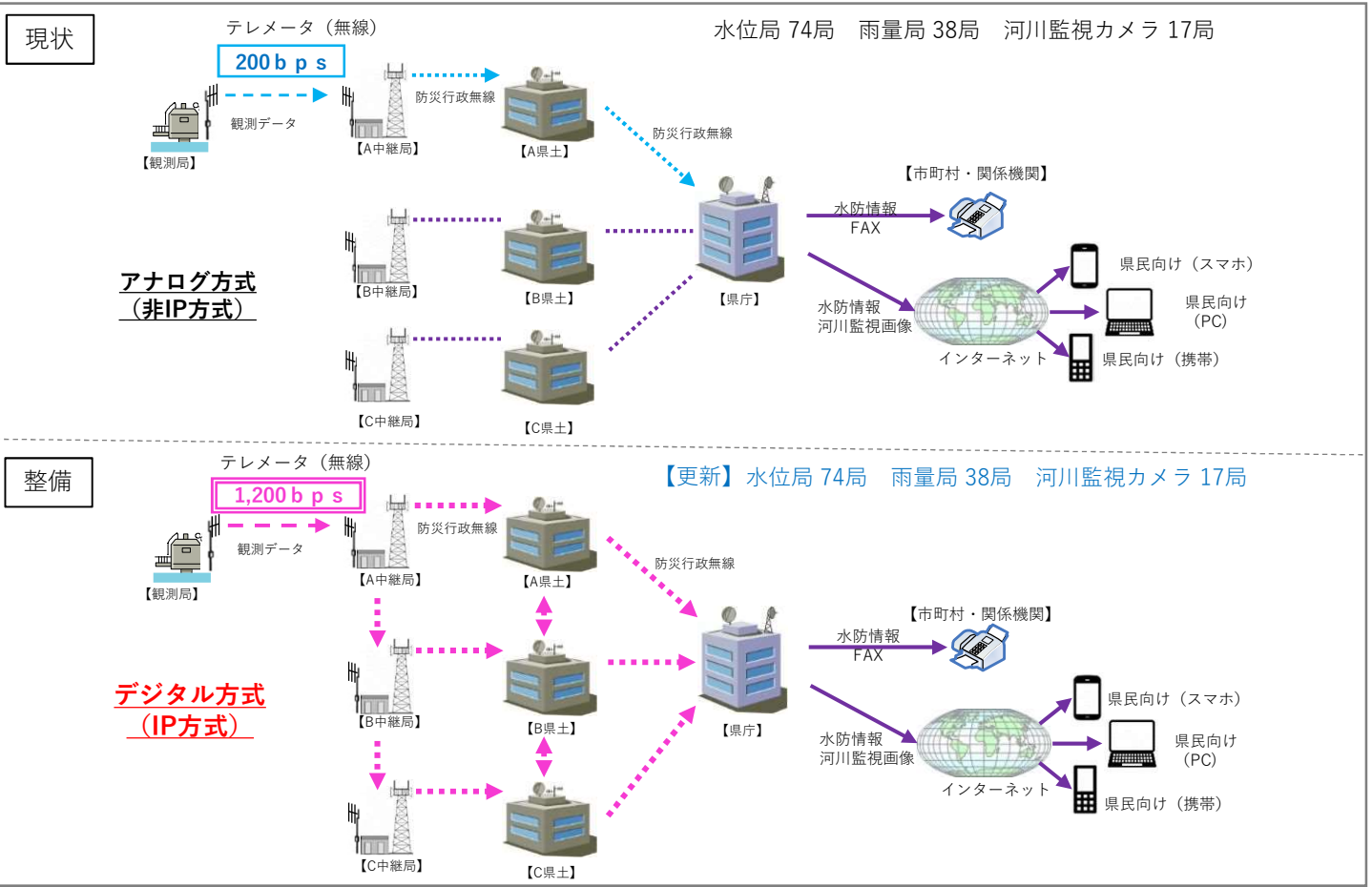
現状
 ◆観測施設の老朽化に伴う通信異常
 雨量計・水位計整備 H8年度から順次整備
 河川監視カメラ施設 H13年度から順次整備

更新



整備
 ・観測施設更新による**確実な情報の提供**
 ・IP方式移行による**通信性能の向上**
 （通信の冗長化・高速化）

整備内容



項目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実 目標時期：2020年度末まで	
内容	H30年度取組	大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の6時間先から15時間先へ延長（松江地方気象台）
	R01年度予定	警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、鳥根県	

気象庁ホームページ「今後の雨」

「解析雨量・降水短時間予報」ページを「今後の雨（降水短時間予報）」ページにリニューアルしました。

URL : <https://www.jma.go.jp/jp/kaiotan/>



パソコン・タブレット



見たい地域に自由に移動し、拡大や縮小もできるようになりました

「高解像度降水ナウキャスト」や「危険度分布」とコンテンツの切り替えができるようになりました

過去の実況から**15時間先の予報**まで見たい時刻に自由に移動できるようになりました

スマートフォン

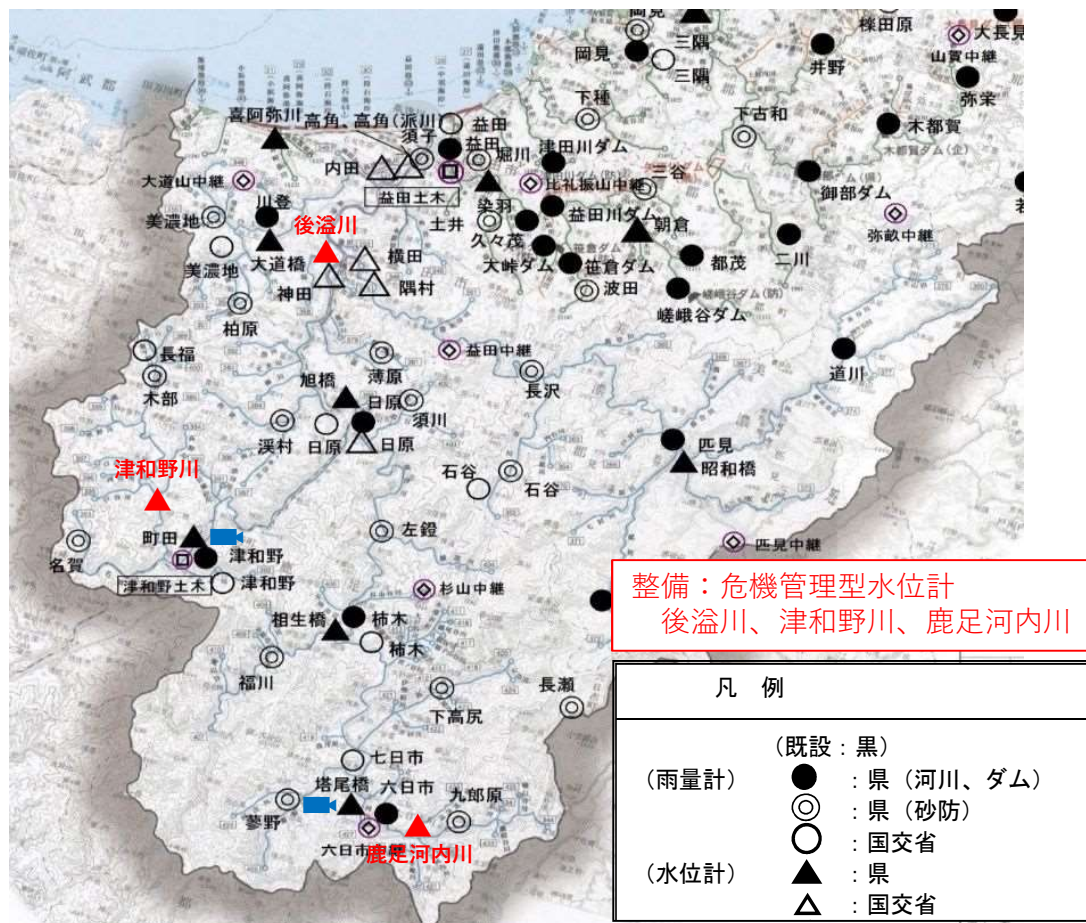


スマートフォンでも見やすくなりました

位置情報取得機能により自分のいる地域を自動で取得できます

項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備 目標時期：平成30年度から順次実施	
内容	H30年度取組	島根県/危機管理型水位計の整備〔益田市：後溢川、津和野町：津和野川、吉賀町：鹿足河内川〕
	R01年度予定	島根県/危機管理型水位計の運用開始、河川監視カメラの更新・新設〔益田市：益田川（染羽）更新、津和野町：津和野川（町田）新設、吉賀町：高津川（塔尾橋）新設〕
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

危機管理型水位計の整備



危機管理型水位計 水位データ閲覧方法
<https://k.river.go.jp/>
 (パソコン・スマートフォン共通)



益田市
後溢川
宮の前橋



津和野町
津和野川
横瀬橋



吉賀町
鹿足河内川
六日市橋

項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備 目標時期：平成30年度から順次実施	
内容	H30年度取組	島根県/危機管理型水位計の整備〔益田市：後溢川、津和野町：津和野川、吉賀町：鹿足河内川〕
	R01年度予定	島根県/危機管理型水位計の運用開始、河川監視カメラの更新・新設〔益田市：益田川（染羽）更新、津和野町：津和野川（町田）新設、吉賀町：高津川（塔尾橋）新設〕
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

危機管理型水位計の閲覧方法



3つの主な機能

観測所の一覧画面から観測地点を選択すると自動でズームし、その観測地点の河川水位を簡単にみられます。



河川周辺の土地の高さとリアルタイムの河川水位が重ねて表示され、氾濫した場合の危険度がわかります。



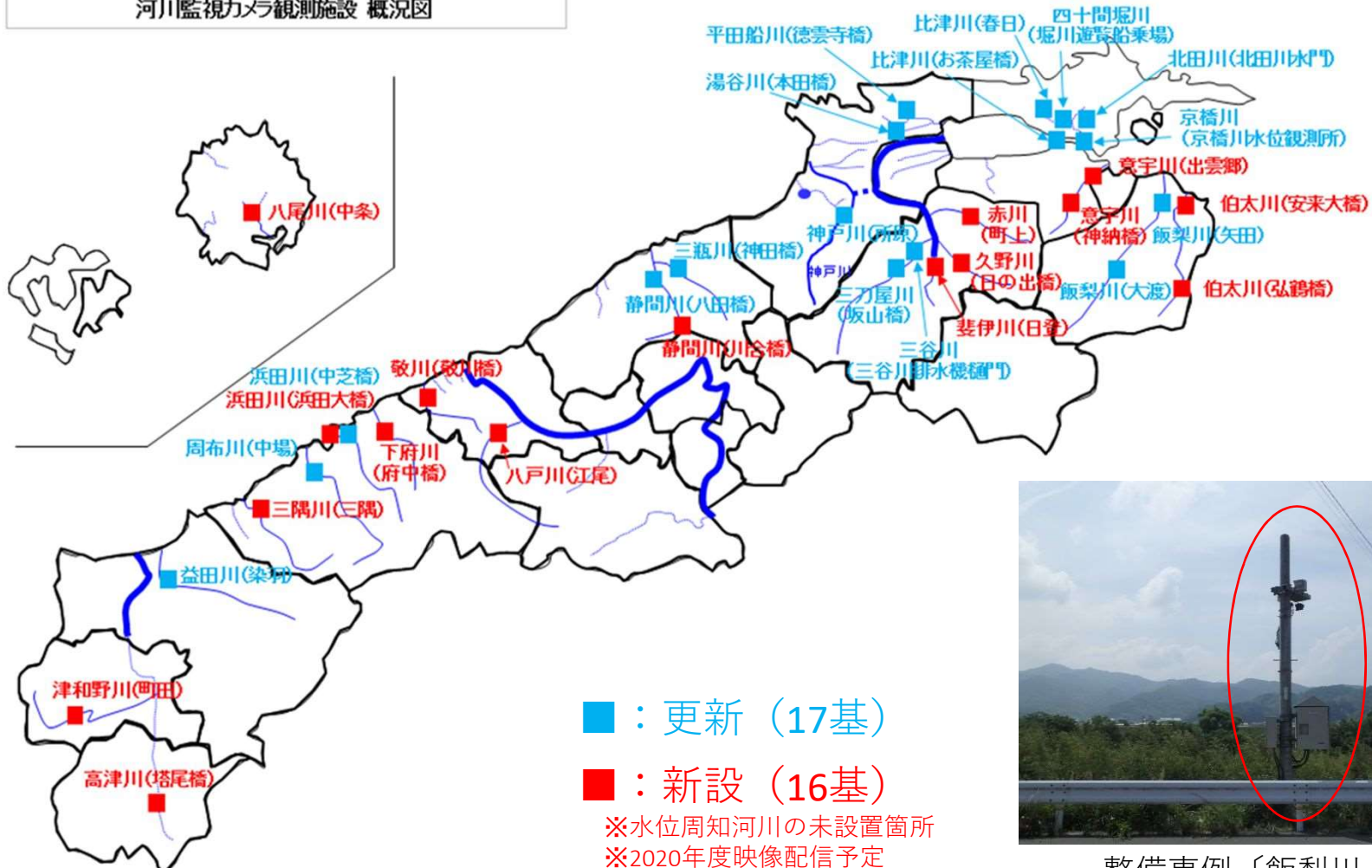
スライドさせて周辺の土地の高さを見れます。

リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、氾濫の危険度がわかります。



項目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備 目標時期：平成30年度から順次実施	
内容	H30年度取組	島根県/危機管理型水位計の整備〔益田市：後溢川、津和野町：津和野川、吉賀町：鹿足河内川〕
	R01年度予定	島根県/危機管理型水位計の運用開始、河川監視カメラの更新・新設〔益田市：益田川（染羽）更新、津和野町：津和野川（町田）新設、吉賀町：高津川（塔尾橋）新設〕
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

河川監視カメラ観測施設 概況図



整備事例〔飯梨川（矢田）〕

項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	R01年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○益田市の取組状況

広報紙を活用した防災知識の普及

◇広報紙に防災コラムを掲載（広報ますだ）



平成30年4月号

ワンポイント防災知識～そのときどうする風水害編～

- 避難の際には水位に注意しましょう
水の流れる速さにもよりますが、歩ける水の深さは最高でも股下までです。
水位が上がる前に避難をしましょう。
長靴は水が入ると動きにくいので、動きやすい運動靴などを履き、長い棒を杖代わりに安全を確認しながら歩きましょう。

平成30年6月号

ワンポイント防災知識～そのときどうする風水害編～

- 「降雨量」と「体感雨量」について
気象情報で使われる「降雨量」とはどのくらいの雨量でしょう。
「『強い雨』が降ります。」と言われたら、どのような雨が降るでしょうか。
 - ・ 「やや強い雨」（10～20mm）とは
ザーザーと降る雨。長く続くときは注意が必要です。
 - ・ 「強い雨」（20～30mm）とは
土砂降りの雨。側溝や下水、小さな川があふれる場合があります。
 - ・ 「激しい雨」（30～50mm）とは
バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川になります。
 - ・ 「非常に激しい雨」（50～80mm）とは
滝のように降る雨。マンホールから水が噴出します。
 - ・ 「猛烈な雨」（80mm以上）とは
圧迫感のある雨。大規模な水害が発生するおそれがあります。

防災訓練、防災教室等の実施

防災訓練の実施状況



養護学校防災訓練



益田中学校防災訓練

防災教室等の実施状況



松ヶ丘、緑ヶ丘合同
防災訓練



豊田地区防災訓練

項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	R01年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○津和野町の取組状況

出前講座による防災知識の普及

避難情報の種類

情報の種類	住民に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は立退き避難します。その他の人は立退き避難の準備を整えるとともに、以後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に避難を開始することが望まれます。とくに、突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、当該災害に対応した指定緊急避難場所へ立退き避難することが強く望まれます。
避難勧告	予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに立退き避難します。指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねない自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」への避難や少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として「屋内安全確保」を行います。
避難指示（緊急）	既に災害が発生しているにもかかわらず極めて危険な状況となっており、未だ避難していない人は、予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ緊急に避難します。指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねない自ら判断する場合には「近隣の安全な場所」への避難や少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として「屋内安全確保」を行います。

※1 近隣の安全な場所：指定緊急避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物等
 ※2 屋内安全確保：その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動
 (注) 突発的な災害の場合、市町長からの避難勧告等の発令が間に合わないこともあるため、身の危険を感じたら躊躇なく自発的に避難する。

防災訓練・防災講演会等の実施



防災訓練（福祉施設）



操作訓練

積極的に情報を集めましょう

局地的に猛烈な大雨に襲われる事例が増えています。1時間あたりの雨量が20mmを超えると、警戒が必要です。1時間あたりの雨量が50mmを超えると災害が起こる可能性が非常に高くなります。近年は、スマートフォンやパソコンなどの通信機器やテレビのデータ放送などにより、気象情報や避難情報などを収集しやすい環境になってきました。これらを活用して、降水状況や雨量の動き、台風の進路予想など、積極的に気象情報や災害情報を集めて、避難行動等に役立てましょう。



防災学習（小学校）



防災安全講演会

項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	R01年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○吉賀町の取組状況

災害を疑似体験すること等による防災知識の普及

◇災害の疑似体験・メカニズムを知ってもらうことにより、防災・減災対策についての意識を高めてもらう取り組みを実施

イベントの開催状況

防災訓練実施のチラシ



地震体験



消火体験



防災ヘリによるピックアップ展示



災害発生メカニズム模型学習

項目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	新聞広報、出前講座等を継続実施
	R01年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○島根県の取組状況

防災研修会の実施（島根県・松江地方気象台）



日時 平成30年5月25日(金)13:15～16:15
 場所 島根県建設技術センター 2階研修室
 内容 水防法の概要（河川課）
 平成30年度島根県水防計画（河川課）
 島根県の気象と防災気象情報の利活用（松江地方気象台）

新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）

大雨による災害に備えましょう

水害や土砂災害は、いつどこで起きるかわかりません。日頃から防災情報に注意し、いざというときに備えましょう。

危険な予兆を察知しましょう

川の水位が上がる、下がる など

どのように行動すればいいの？

市町村からテレビやラジオ、防災行政無線を通じて、次の情報が発令されたら、とるべき避難行動をとりましょう。

非常備蓄品を準備しましょう

ヘルメット、懐中電灯、携帯ラジオ、非常食、水、医薬品、貴重品、生活用品等

平成30年6月23日(土) 考える県政（新聞広告）

項目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検 目標時期：平成30年度から継続実施	
内容	H30年度取組	出水期前に水防関係団体による連絡調整会議を開催【H30.6.6】
	R01年度予定	出水期前に水防関係団体による連絡調整会議を開催 「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施
取組機関	益田市、消防本部、消防団、島根県	

連絡調整会議（令和元年6月7日）、共同点検（令和元年7月）

◆連絡調整会議

- 日時：令和元年6月7日
- 参加機関：
 - 浜田河川国道事務所、
 - 益田市、消防本部、警察、
 - 島根県（益田県土整備事務所）
- 内容 水防計画について
危険箇所の現地確認

◆共同点検

- 日時：令和元年7月（日程未定）
- 参加機関：
 - 益田市、消防本部、消防団、
 - 島根県（益田県土整備事務所）
- 内容 河川巡視、施設点検（半日）
- 範囲 益田川 益田市大谷町（八坂橋）
～益田市久城町（河口）
※重要水防区域



重要水防区域の点検状況



共同点検実施打合せ

項目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所共同点検等 目標時期：平成30年度から継続実施	
内容	H30年度取組	H29年度と同様の共同点検に加え、「水防資機材」の提供方法について確認 参加団体に地元（消防団又は自治会）を含める 【津和野町：H30.6.26、吉賀町：H30.6.29】
	R01年度予定	H30年度と同様の取組み
取組機関	津和野町、吉賀町、消防署、警察、島根県	

連絡調整会議（令和元年6月4日）、共同点検（令和元年6月）

◆連絡調整会議

- 日時：令和元年6月4日
- 参加機関：
 - 浜田河川国道事務所、
 - 津和野町、吉賀町、警察、消防署
 - 島根県（津和野土木事業所）
- 内容 水防計画について
危険箇所の現地確認

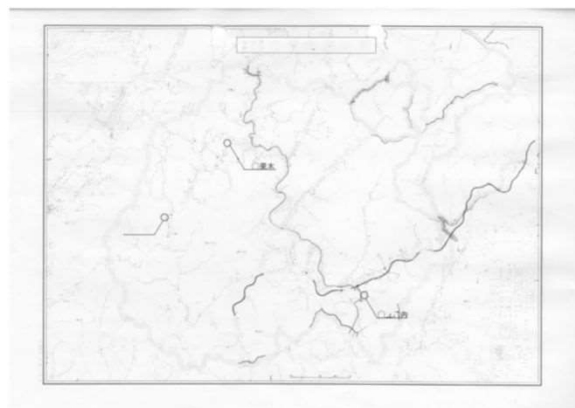
◆共同点検

【津和野町】

- 日時：令和元年6月（日程未定）
- 参加機関：
 - 津和野町、警察、消防
 - 島根県（津和野土木事業所）
- 点検箇所
 - ①津和野川（瀧本小直）
 - ②津和野川（下横瀬、山入）

【吉賀町】

- 日時：令和元年6月（日程未定）
- 参加機関：
 - 吉賀町、警察、消防
 - 島根県（津和野土木事業所）
- 点検箇所
 - ①栗木川（栗木）
 - ②立河内川（立河内）



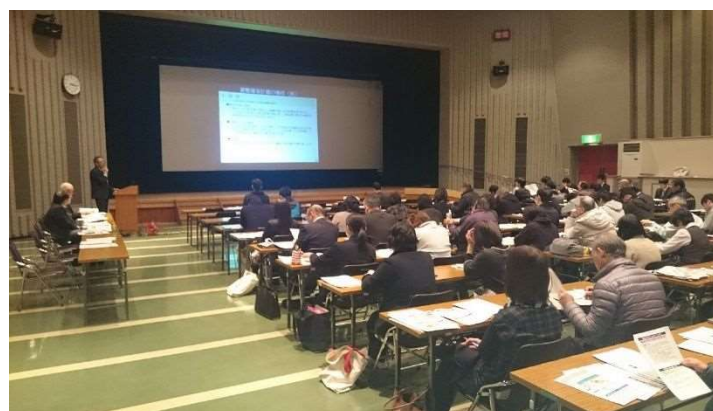
項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	洪水浸水想定区域図（想定最大規模）策定に伴う対象施設の見直し
	R01年度予定	継続実施
取組機関	協議会全体	

（参考）河川災害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】

■説明会の内容

- 日時：平成30年1月23日(火)14：00～
- 場所：益田市市民学習センター 多目的ホール
- 主催：益田市
- 内容
 - (1) 河川災害に備えて
国土交通省浜田河川国道事務所
 - (2) 避難確保計画(洪水)作成の留意点
島根県土木部河川課
 - (3) 土砂災害に備えて
島根県土木部砂防課
- 参加
 - 対象 103施設
 - 参加 53施設68人

■説明会の実施状況

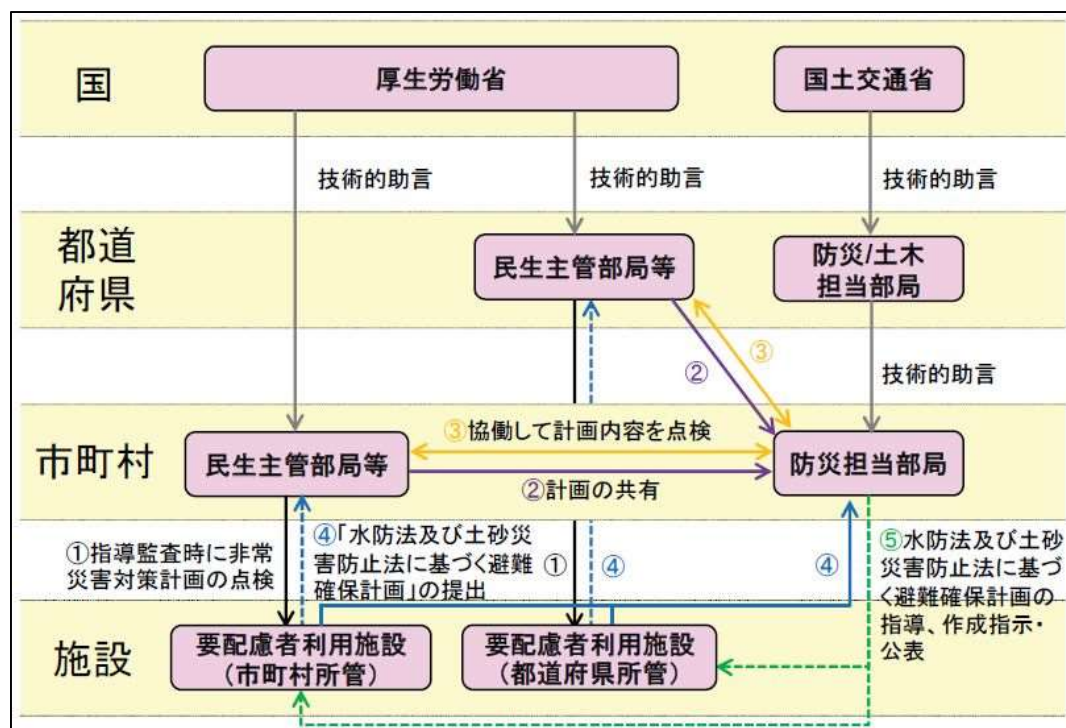


項目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	洪水浸水想定区域図（想定最大規模）策定に伴う対象施設の見直し
	R01年度予定	継続実施
取組機関	協議会全体	

避難計画作成状況

◆益田市		
<H29.12現在>		<H31.3現在>
作成済み	6 施設	13 施設
未作成	97 施設	90 施設
作成率	5.8 %	12.6 %
◆津和野町		
<H29.12現在>		<H31.3現在>
作成済み	0 施設	0 施設
未作成	2 施設	14 施設
作成率	0 %	0 %
◆吉賀町		
対象施設無し (自主的に1施設作成済)		
※ 新たな洪水浸水想定を踏まえ、再度、対象となる施設数の見直しを行う。		

要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ



国土交通省HP「◇法改正についての各地方ブロック説明会資料 (平成29年6月作成)」より抜粋

項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策 目標時期：平成28年度から継続実施	
内容	H30年度取組	【河川に堆積した土砂の取り除き】 益田川（益田市三宅町外）
	R01年度予定	【河川に堆積した土砂の取り除き】 益田川
取組機関	島根県（益田県土整備事務所管内）	

H30 堆積土砂撤去



河川内に堆積した土砂の掘削を行い、流下能力の向上を図る。

項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策 目標時期：平成28年度から継続実施	
内容	H30年度取組	【河川に堆積した土砂の取り除き】高津川（鹿足郡柿木村柿木）
	R01年度予定	【河川に堆積した土砂の取り除き】高津川、吹野川、横道川、高尻川
取組機関	島根県（津和野土木事業所管内）	

H30 堆積土撤去



河川内に堆積した土砂の掘削を行い、流下能力の向上を図る。



項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策 目標時期：平成28年度から継続実施	
内容	H30年度取組	【河川内に繁茂する立木等の伐採】 白上川（益田市白上町）
	R01年度予定	【河川内に繁茂する立木等の伐採】 白上川、益田川（益田県土整備事務所管内） 高津川、吹野川、高野川、横道川、木部川、高尻川（津和野土木事業所管内）
取組機関	島根県	

H30 河川内に繁茂する立木（支障木）等の伐採



白上川 着手前



河川内に立木が繁茂し河道の流下能力が低下していることから伐採を行う。

白上川 完了後

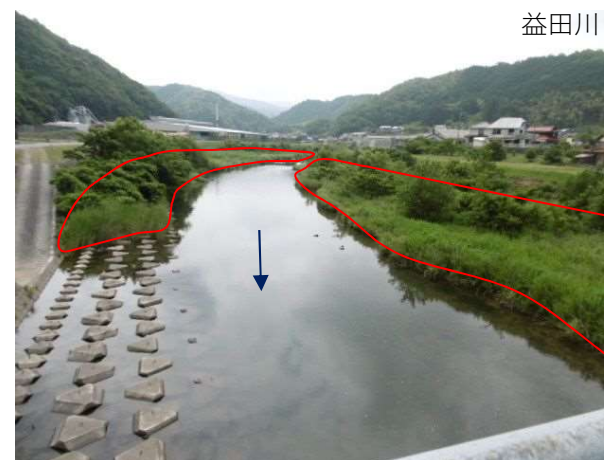


項目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策 目標時期：平成28年度から継続実施	
内容	H30年度取組	【河川内に繁茂する立木等の伐採】 白上川（益田市白上町）
	R01年度予定	【河川内に繁茂する立木等の伐採】 白上川、益田川（益田県土整備事務所管内） 高津川、吹野川、高野川、横道川、木部川、高尻川（津和野土木事業所管内）
取組機関	島根県	

R01 河川内に繁茂する立木（支障木）等の伐採



河川内に立木が繁茂し河道の流下能力が低下していることから伐採を行う。



項目	12. 排水施設、排水資機材等の情報を共有 目標時期：継続実施	
内容	H30年度取組	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
	R01年度予定	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、浜田河川国道事務所、島根県	

平成31年度 島根県水防計画抜粋

(1) 国土交通省所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両 総重量(kg)
斐伊川出雲市 河川防災ステーション	出雲市上塩治町	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s (揚程20m) 機械番号25-4706	18,070 未満
		1台	照明車2kw×6灯 機械番号11-4718	6,810
出雲河川事務所 中海出張所	安来市東赤江町福井 1637	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s 機械番号18-4708	9,030
		1台	照明車2kw×6灯 機械番号21-4703	7,770
浜田河川国道事務所 安富水防倉庫	益田市安富町	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s 機械番号24-4702	9,340
浜田河川国道事務所 江の川下流出張所	江津市渡津町	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s (揚程20m) 機械番号24-4706	17,300
		1台	照明車2kw×6灯 機械番号11-4719	6,810
浜田河川国道事務所 多田水防倉庫	川本町多田	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s (揚程20m) 本部付 機械番号22-4700	17,050
浜田河川国道事務所 尾原水防倉庫	川本町川下	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s (揚程20m) 本部付 機械番号19-4704	17,270
		1台	照明車2kw×6灯 本部付 機械番号20-4705	7,650
浜田河川国道事務所 益川国道維持出張所	益田市あけぼの町	1台	照明車2kw×6灯 機械番号16-1709 本部付	

(2) 島根県所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両 総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方531-1	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s	10,340

(3) 市町村所有機械基地名称及び位置

基地名	所在地	台数	規格	車両 総重量(kg)
雲南市三刀屋水防格納庫	雲南市三刀屋町三刀屋 1164-4	1台	排水ポンプ車0.5 m ³ /s	7,660

(3) 要請先(窓口)

1) 国土交通省所有機械

国土交通省出雲河川事務所	管理第一課	TEL FAX	0853-20-1753 0853-22-6117
国土交通省浜田河川国道事務所	河川管理課	TEL FAX	0855-22-2480 0855-22-2486
国土交通省中国地方整備局 企画部	防災課	TEL FAX	082-221-9231 082-227-2651

2) 島根県所有機械

各県土整備事務所等(各水防支部・地区)	水防担当課	TEL FAX	県水防計画P6参照 #
上木部河川課(水防本部)	防災グループ	TEL	0852-22-6363

○島根県内の排水ポンプ車配備位置図



出雲河川事務所所有の排水ポンプ車



能力：30m³/min (5m³/min×6)
設置人数：5人程度
運転時間：約48時間
(斐伊川出雲市河川防災ステーション)

能力：30m³/min (5m³/min×6)
設置人数：5名程度
運転時間：約48時間
(中海出張所)

・設置人数は、標準的な現場において全容量の運転開始までの所要時間を1時間程度と想定した場合の参考値
・運転時間は燃料が満タン状態での無制限連続運転時間

項 目	13. 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進 目標時期：平成29年度から継続実施	
内 容	H30年度取組	洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認
	R01年度予定	-
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

益田市

【現状】

< 益田赤十字病院（災害拠点病院） >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は屋上に設置
（重油タンクは1階に設置）

< 益田市役所 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は地上4.5mに設置

吉賀町

【現状】

< 六日市病院 >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 吉賀町役場（本庁舎） >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

津和野町

【現状】

< 津和野共存病院 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 津和野町役場（津和野庁舎） >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機はなし

島根県

【現状】

< 益田合庁 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 津和野土木事業所 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は1階に設置

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現								
1 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	益田川 高津川 (県管理) 津和野川	平成30年度末まで						◆想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図作成・公表し、関係市町へ提供する。 ◆H29～津和野町、吉賀町 ◆H30～益田市
		H30取組状況						・津和野川、高津川、益田川の洪水浸水想定区域図を公表【H30.5.25】し、津和野町、吉賀町、益田市に提供
		R01取組予定						—
2 水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成32年度末まで	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (平成30年度作成予定) ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物の各戸配布する。 (平成30年度配布予定)	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (平成30年度作成予定) ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物の各戸配布する。 (平成31年度配布予定)	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 (平成30年度作成予定) 令和2年度 ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 (ハザードマップ完成後すぐに登録) ◆印刷物の各戸配布する。 (平成32年度配布予定) (印刷物は土砂災害と一緒に作成)			
		H30取組状況	・防災ハザードマップの作成	・防災ハザードマップの作成	・防災ハザードマップ (既存) の周知 (転入者等へ戸別配布)			
		R01取組予定	・ハザードマップの周知 (各戸配布、ポータルサイト登録、市HP掲載等)	・ハザードマップの周知 (各戸配布、ポータルサイト登録、市HP掲載等)	・防災ハザードマップ (既存) の周知 (転入者等へ戸別配布)			
3 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	益田川 高津川 (県管理) 津和野川	平成30年度の出水期までに水害対応タイムラインの作成	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、見直しを行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆タイムラインの策定に関する支援	◆水害対応タイムラインの確認・調整。 (水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。
		H30取組状況			・実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し			
		R01取組予定			・実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し			
4 洪水時における河川管理者からの情報提供 (ホットラインの定着)	益田川 高津川 (県管理) 津和野川	平成28年度から継続実施	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。			◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。
		H30取組状況	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】			・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】
		R01取組予定	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】			・情報伝達演習でホットラインを実施【H31.4.25】

益田圏域県管理河川に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字；H30取組内容

青字；H31取組予定

【資料2】

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台		島根県（益田県土・津和野土木）
5 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	平成32年度末まで					<ul style="list-style-type: none"> ◆防災気象情報の改善 <ul style="list-style-type: none"> ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆次期水防情報システムの開発(平成31年度から運用開始予定) <ul style="list-style-type: none"> ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ◆雨量計、水位計等の更新を行う。(平成32年度末更新完了予定) 	
		H30取組状況					<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月20日より降水短時間予報をこれまでの6時間先から15時間先に延長 ・平成31年3月14日より台風強度予報をこれまでの3日間先から5日間先に延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期水防情報システム開発【H31.3.8～運用開始】 	
		R01取組予定					<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報・注意報(浸水害)、洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次期水防情報システム運用 ・雨量計、水位計等の更新に着手 	
6 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	—	平成30年度から順次実施	◆簡易水位計設置箇所の周知および水位情報の把握や活用の検討					◆モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る。 ○モデル河川・・・今後調整	
		H30取組状況		—				<ul style="list-style-type: none"> ・簡易水位計の整備 益田市：後谷川 津和野町：津和野川 吉賀町：鹿足河内川 	
		R01取組予定		—				<ul style="list-style-type: none"> ・河川監視カメラの更新・新設 益田市：益田川(染羽)更新 津和野町：津和野川(町田)新設 吉賀町：高津川(塔尾橋)新設 	
7 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆小学校、養護学校等で防災教室を開催(9月末現在3校) ◆障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援(9月末現在14か所) ◆毎月、広報誌で防災コラムを掲載(高齢者にもわかりやすい情報提供) ◆防災メール登録の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆公民館や自治会、自主防災組織等からの要請による防災に関する出前講座の開催や地区防災訓練の支援。 ◆広報紙やCATVを活用した定期的に防災知識の普及・啓発。(高齢者にもわかりやすい情報提供) ◆防災メール登録の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ◆防災イベントの開催 ◆広報紙を活用した防災情報発信(高齢者にもわかりやすい情報提供) ◆防災メール登録の推進 	◆防災知識の普及に協力。	<ul style="list-style-type: none"> ◆出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市町の出前講座等を支援する。 ◆ホームページを活用して防災情報を発信する。 	
		H30取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、養護学校等で出前講座を開催(3校4回) ・自治会、自主防災会、高齢者福祉施設等で防災講演、訓練支援(11団体) ・毎月、広報誌で防災コラムを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・小学校での防災学習の開催 ・住民周知用気象・防災情報記事作成(ハザードマップに掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・広報紙掲載 ・小学校で防災研修を開催 	・防災知識の普及に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞広報、出前講座等 	
		R01取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知、フォローアップ ・小中学校、養護学校等で出前講座の開催 ・自治会、自主防災会等で出前講座の開催、訓練支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等の実施 ・広報紙掲載、チラシの配布 ・ハザードマップ配布に伴う気象・防災情報の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・広報紙掲載 ・小学校で防災研修を開催 	・防災知識の普及に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞広報、出前講座等 	

益田圏域県管理河川に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字；H30取組内容

青字；H31取組予定

【資料2】

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
8 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所共同点検	益田川 高津川（県管理） 津和野川 他	平成30年度から	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。			◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市町・消防団等と共同で点検する。
		H30取組状況	・出水期前に連絡調整会議を開催【H30.6.6】	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。【H30.6.26】	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。【H30.6.29】			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。
		R01取組予定	・「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施。	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。
9 水害危険性の周知促進	—	平成31年度から	◆県や市が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。			◆県が保有する過去の浸水実績等を関係市町へ提供する。
		H30取組状況	—	—	—		—	
		R01取組予定	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を計る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を計る	・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を計る			・浸水実績等が有り、周知が必要な未対策の箇所は無い ・必要に応じて周知促進を計る
■要配慮者利用施設における確実な避難								
10 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援	圏域	平成28年度から継続実施	◆施設管理者向け説明会の開催（平成30年1月～2月）および避難確保計画作成の支援 <H29年12月時点> 【対象施設 103施設】 (内訳) 避難計画策定済み 6施設 避難計画未策定 97施設 ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆洪水浸水想定区域内の要配慮者地要施設の管理者が策定する避難確保計画等の作成支援 <H29年12月時点> 【対象施設 2施設】 (内訳) 避難計画策定済み 〇〇〇 避難計画未策定 2施設 ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆避難確保計画作成の支援 <H29年12月時点> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定 ※新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ◆避難確保計画作成に関する支援	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ◆避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	◆平成28年度に施設管理者向け説明会を開催した。 ◆モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有する。 ◆市町の支援
		H30取組状況	<H31年3月末> 【対象施設 103施設】 (内訳) 避難計画策定済み 13施設 避難計画未策定 90施設 ※市策定支援（H30）7施設	<H31年3月末予定> 【対象施設 14施設】 (内訳) 避難計画策定済み 0施設 避難計画未策定 14施設 ※H30.5洪水浸水想定の見直し（想定最大規模）に伴い対象施設数増。	<H31年3月末予定> 【対象施設 なし】 (自主的に1施設策定済) ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・説明会及び避難確保計画作成に協力する。	・計画作成支援を行う
		R01取組予定	・継続	・継続（地域防災計画の修正にあわせて見直しを検討。「医療・福祉施設は有床に限る。」など）	・継続	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・説明会及び避難確保計画作成に協力する。	・計画作成支援を行う

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る								
11 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	平成28年度から継続実施	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。			◆河川整備状況を市町と共有する。 ◆河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施する。 ◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、関係市町と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。
		H30取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
		R01取組予定	—	—	—			・河道掘削、立木伐採について、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施
12 排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施 ※島根県の「排水計画の検討」については、新たな洪水浸水想定結果を受けて排水計画の検討が必要になった際に、目標時期を設定する	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材等の情報提供 ◆排水計画策定に関する助言		◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。 ◆新たに作成する「想定最大規模降雨による洪水浸水想定」の結果から、災害拠点施設などの重要施設が立地するエリアで浸水継続時間が長期になるようであれば、ポンプ車などの配置などを考慮した効率的な排水計画を検討する。
		H30取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
		R01取組予定	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・平成31年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		・平成31年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
13 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や災害拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施してもらう。 【現状】 <益田赤十字病院（災害拠点病院）> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は屋上に設置（重油タンクは1階に設置） <市役所> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は地上4.5mに設置	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施してもらう。 【現状】 <津和野共存病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置 <役場（津和野庁舎）> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は無し	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施してもらう。 【現状】 <六日市病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置 <役場> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置	◆自衛水防の推進に関する支援		◆想定最大規模降雨での想定結果から、洪水浸水想定区域内にある災害拠点施設における浸水深さなどの情報を市町に提供する。 ◆洪水浸水想定区域内にある県庁舎の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施してもらう。 【現状】 <益田合庁> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は1階に設置 <津和野土木事業所> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置
		H30取組状況	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 変更無	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 <津和野共存病院> <役場（津和野庁舎）> ・浸水想定区域内	・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 変更無			・洪水浸水想定区域（想定最大規模）策定による施設状況確認 <津和野土木事業所> ・浸水想定区域内
		R01取組予定	—	—	—			—